



会長就任にあたって

梅 村 魁*

今回はからずも創立15年を迎える当技術協会の会長を来年度までお引受けすることになりました。

私が最初にプレストレストコンクリートのことを知ったのは、昭和14年建築雑誌に吉田宏彦教授によって紹介された“鋼弦コンクリート (Stahlsaitenbeton) に就て”が最初で、大学の学生のと看です。なかなか面白いものができるものだと思ったものです。その後坂先生にもっとPCコンクリートのことをやってもらいたいものだといわれたりしたことも思い出します。

その頃のPCコンクリートに比べると最近のものはずい分進歩し、広い実施範囲も持つようになってきたと思われます。しかし、それだけに技術的なわずかな欠陥が構造物の安全性をおびやかすことにもなりかねません。

基礎研究技術の進歩に見あった実施面での技術の進歩のつり合が大切で、当協会としても基礎研究技術と実施技術との橋渡し役がはたせれば幸いと思っております。

何とぞ御支援のほどをお願いする次第であります。

* 東京大学教授 工学部建築学科